

農業版事業継続計画書 簡易版

策定・改定日	2021年12月22日	従業員・家族共有日 (原案策定・改定日から1ヶ月以内)	2022年1月中	次回改定予定日 (原則1年毎に改定)	2022年12月末
--------	-------------	--------------------------------	----------	-----------------------	-----------

想定リスク	時期: 3月～5月 想定災害: 基本的には晩霜害、降電被害、併せてその他の災害を想定 自宅の状況: 圃場隣接、過去に水害、震災被害等なし 圃場の状況: 圃場隣接、過去に水害、震災被害等なし 作業場・機械置場の状況: 自宅敷地内に所在、過去に水害、震災被害等なし
-------	--

**1. 基本方針**

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1	従業員および家族の命を守る
2	地域の仲間と協力し、災害発生時からの迅速な復旧を目指す
3	生産物を予定通り出荷し、供給者としての責任を果たす

**2. 重要業務と目標復旧時間**

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務	梨の病虫害防除、消毒
目標復旧時間	災害発生後48時間以内、および災害終息後1週間以内

**3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)**

種別	影響	対応(代替手段等)
電気	選果機の稼働不能	①自家発電機の用意 ②手作業による選果
水道(農業用水含む)	断水	①井戸水の利活用 ②飲用水の保管(自宅、販売所等)
情報通信	関係各所、取引先への連絡不能	①携帯電話の利用 ②E-Mailの利用 ③SNSの利用
交通	道路不通による出荷不能	①収穫調整の実施 ②運送会社と相談、出荷先を調整(変更)する
ほ場等	梨棚の損壊	①早急な損壊資材の撤去と再設のための資材調達、 ②多目的防災網撤去の可否、霜除け対策用品使用の可否判断
その他	特に問題なし	

**4. 事前対策の実施状況**

分類	項目	
ヒト	安否確認手段	携帯電話・グループLINE 連絡体制 代表から安否確認連絡、家族(従業員)は応答または返信
	避難場所	原則的に自宅待機とする 自宅が被害を受けた場合は●●学校(●●市指定避難所)
	欠員時の対応	地域の仲間に協力を依頼する(事前に相互協力体制を話し合っておく)
モノ	設備使用不可時の対応	降霜が予測される場合の夜間作業ができる人を事前に把握、確保しておく。作業の受け持ち場所を決めておく。
	調達支障時の対応	地域の仲間に協力を依頼する(事前に相互協力体制を話し合っておく)
	その他	特になし
カネ	手元資金	肥料は複数社から調達、事前にまとめて余裕を持って購入する
	現金および預金	約●●円
	その他	その他金融資産 約●●円 備考 金融資産は時価評価
セーフティネット	保険加入	収入保険、火災保険(●●)、地震保険(●●)
	その他	共済は未加入 備考 保険証券は●●に保管
情報	重要情報保管場所	PC(パスワード:●●●が保管)
	心等使用不可時の対応	USBメモリー(●●●に保管)を利用(パスワード:●●●が保管)
	その他	関係機関連絡先や担当者をリスト化済み、紙にて出力 家族に情報は共有済み
地域連携	JA、●●農林振興センターと連携、被災時の出荷対応、インフラ復旧情報について協議予定	

**5. 緊急時の体制**

総括責任者(代理者)	事業継続担当責任者(代理者)
代表 A氏	B氏

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)	【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)																																																
<p>○状況確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認対象</th> <th>担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員・従業員</td> <td>家族を含めた安否確認 A氏(B氏)</td> </tr> <tr> <td>建物・設備</td> <td>ITを含む状況 A氏(B氏)</td> </tr> <tr> <td>その他事業資源</td> <td>肥料・飼料・農薬等の在庫 A氏(B氏)</td> </tr> <tr> <td>取引先</td> <td>状況確認 A氏(B氏)</td> </tr> <tr> <td>インフラ</td> <td>電気・ガス・水道・交通等の状況 A氏(B氏)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○備蓄品の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>その他</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急箱</td> <td>2セット</td> <td>懐中電灯</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td>飲料水</td> <td>2L×2ケース(12本)</td> <td>携帯電話充電器</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>5人×7日分</td> <td>カセットコンロ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ヘルメット</td> <td>3個</td> <td>トイレトイレットペーパー</td> <td>1ケース</td> </tr> </tbody> </table> <p>○出勤・帰宅ルール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>状況</th> <th>原則ルール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出勤時</td> <td>自宅、または販売所待機(従業員は状況に応じて帰宅可)</td> </tr> <tr> <td>在宅時</td> <td>自宅待機</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>原則自宅待機、移動中はグループLINEに連絡</td> </tr> </tbody> </table>	確認対象	担当者	役員・従業員	家族を含めた安否確認 A氏(B氏)	建物・設備	ITを含む状況 A氏(B氏)	その他事業資源	肥料・飼料・農薬等の在庫 A氏(B氏)	取引先	状況確認 A氏(B氏)	インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況 A氏(B氏)	その他		品名	数量	その他	数量	救急箱	2セット	懐中電灯	5台	飲料水	2L×2ケース(12本)	携帯電話充電器	3台	食料	5人×7日分	カセットコンロ	1台	ヘルメット	3個	トイレトイレットペーパー	1ケース	状況	原則ルール	出勤時	自宅、または販売所待機(従業員は状況に応じて帰宅可)	在宅時	自宅待機	その他	原則自宅待機、移動中はグループLINEに連絡	<p>○重要業務継続の具体的方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手順</th> <th>担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     ①現状把握(災害発生～12時間以内)                      ・家族、従業員の安否、対応可能可否確認                      ・作物、ほ場、施設、機械設備の被害確認                 </td> <td rowspan="3">                     責任者:A氏                      作業者:B氏                 </td> </tr> <tr> <td>                     ②作業準備(災害発生～24時間以内)                      ・従業員への指示                      ・JA、●●農林振興センターへの連絡                      ・運送会社(●●運輸)に配送状況の確認                      ・取引先(B2Cお客様)への連絡                      ・協力者への連絡、依頼                 </td> </tr> <tr> <td>                     ③作業実施(災害終息後～1週間以内)                      ・自宅、作業場全体の復旧作業実施                      ・傷んだ梨の摘果作業、梨棚の消毒、収穫                      ・損壊資材の撤去、再設資材の調達                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	担当者	①現状把握(災害発生～12時間以内) ・家族、従業員の安否、対応可能可否確認 ・作物、ほ場、施設、機械設備の被害確認	責任者:A氏 作業者:B氏	②作業準備(災害発生～24時間以内) ・従業員への指示 ・JA、●●農林振興センターへの連絡 ・運送会社(●●運輸)に配送状況の確認 ・取引先(B2Cお客様)への連絡 ・協力者への連絡、依頼	③作業実施(災害終息後～1週間以内) ・自宅、作業場全体の復旧作業実施 ・傷んだ梨の摘果作業、梨棚の消毒、収穫 ・損壊資材の撤去、再設資材の調達
確認対象	担当者																																																
役員・従業員	家族を含めた安否確認 A氏(B氏)																																																
建物・設備	ITを含む状況 A氏(B氏)																																																
その他事業資源	肥料・飼料・農薬等の在庫 A氏(B氏)																																																
取引先	状況確認 A氏(B氏)																																																
インフラ	電気・ガス・水道・交通等の状況 A氏(B氏)																																																
その他																																																	
品名	数量	その他	数量																																														
救急箱	2セット	懐中電灯	5台																																														
飲料水	2L×2ケース(12本)	携帯電話充電器	3台																																														
食料	5人×7日分	カセットコンロ	1台																																														
ヘルメット	3個	トイレトイレットペーパー	1ケース																																														
状況	原則ルール																																																
出勤時	自宅、または販売所待機(従業員は状況に応じて帰宅可)																																																
在宅時	自宅待機																																																
その他	原則自宅待機、移動中はグループLINEに連絡																																																
対応手順	担当者																																																
①現状把握(災害発生～12時間以内) ・家族、従業員の安否、対応可能可否確認 ・作物、ほ場、施設、機械設備の被害確認	責任者:A氏 作業者:B氏																																																
②作業準備(災害発生～24時間以内) ・従業員への指示 ・JA、●●農林振興センターへの連絡 ・運送会社(●●運輸)に配送状況の確認 ・取引先(B2Cお客様)への連絡 ・協力者への連絡、依頼																																																	
③作業実施(災害終息後～1週間以内) ・自宅、作業場全体の復旧作業実施 ・傷んだ梨の摘果作業、梨棚の消毒、収穫 ・損壊資材の撤去、再設資材の調達																																																	

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要です。そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。また、重要データはUSBなどの物理的なものではなく、クラウドでのバックアップを併用することが必要です。